

第7章 みんなでつくる環境首都

第1節 環境教育・環境学習の充実

環境教育・環境学習の推進

(1) 取組み

①「環境首都とくしま創造センター(エコみらいとくしま)」の開設

「環境首都とくしま」の実現を目指し、地球温暖化対策をはじめとした各種環境施策や環境活動を

一元的にバックアップするとともに、環境学習や環境教育を総合的にサポートするための「産・学・民・官」の連携・協働による本格的な環境活動拠点として、平成22年4月に「環境首都とくしま創造センター(エコみらいとくしま)」を開設し、このセンターを中心に、県民総ぐるみによる環境活動や環境学習の推進に取り組んでいます。

環境首都とくしま創造センター(エコみらいとくしま)の概要

開設時期	平成22年4月1日
開設場所	徳島市東沖洲一丁目23番地
面積・施設等機能	1階 事務室75.75m ² 、会議室16.87m ² 2階 会議室45.9m ² 事務所、会議室、展示スペース、周辺は環境学習のフィールド
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県と特定非営利活動法人環境首都とくしま創造センターが協働で運営 ・「環境活動実践センター機能」「環境学習サポートセンター機能」、「地球温暖化防止活動推進センター機能」の3つの機能を一箇所に集約して、環境学習サービスのワンストップ化の実現 ・子どもから高齢者まで、すべての世代が、気軽に環境について学べることや、あらゆる方々が、環境を合い言葉に、「集い・語らい・共に行動する」ことができる場を目指す。
環境活動実践支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・産・学・民・官が協働で実施する様々な環境活動・環境施策の企画から実践までを幅広く支援。 ・社会実験や実証実験など実践に結びつく調査・研究、環境NPO等の支援・交流
環境学習サポートセンター機能	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域における環境学習・教育を総合的・体系的に推進するとともに、地域環境力を高めるための人づくりを支援するなど、環境学習・教育を人材・知識面等から総合的にサポート ・とくしま環境学講座等の各種環境関係講座の開催 ・環境関係の図書、DVDソフト、資料、展示パネルの貸出 ・地域や職場、学校での環境に関する講座、セミナー、イベント等に専門的知識を備えた環境アドバイザーの派遣 ・インターネット上のウェブサイト「とくしま環境首都学校」において、県内で実施される各種環境関係イベント、講座等を紹介
地球温暖化防止活動推進センター機能	<ul style="list-style-type: none"> ・本県における地球温暖化防止に関する「啓発・広報活動」、「調査・分析活動」、「情報提供」、「民間団体の活動支援」等を総合的に支援 ・地球温暖化防止活動推進員等の活動支援 ・家庭部門や民生業務部門での温室効果ガス削減活動を支援 ・「クリーンエネルギーの導入」「低炭素交通システムの推進」「カーボンオフセットの推進」等の活動支援 ※地球温暖化対策推進法に基づき、地球温暖化対策に関する普及啓発等の推進主体として「特定非営利活動法人環境首都とくしま創造センター」を地域・地球温暖化防止活動推進センターに指定。

②「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」に基づく取組み

環境保全に対する県民意識を高め、環境保全活動への参加を促していくためには、長期的な視野に立った環境教育や環境学習の推進が必要です。本県では、県民・事業者・行政が連携・協働して環境学習を総合的・体系的に進めるため、「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」を平成17年12月に策定しました。

県としては、この方針に基づき、平成25年度においては次の施策を実施しました。

(ア)環境学習実践モデル事業

「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」の方針を踏まえ、平成19年3月に作成された「とくしま環境学習プログラム」を活用したモデル的な取り組みに対し、支援を行いました。

県内の6団体が「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」で示された本県で重点的に取り組むべき分野である「ごみ」「生きもの」「水環境」「太陽(エネルギー・地球温暖化)」をテーマに「とくしま環境学習プログラム」を活用した環境学習を行い、「とくしま環境学習フォーラム」(平成26年1月開催)でその成果を発表しました。



とくしま環境学習フォーラム

(イ)環境首都 あどぶと・エコスクール

互いに連携・協働しながら主体的に行動する人材の育成のため、道路や河川で行われているアドプト(養子縁組)方式を学校の環境学習活動に適用し、「地域の人づくりを地域の企業等が支える」という考えのもと、事業者・民間団体が「里親」となり、「養子」である学校の環境学習活動を支援する制度「環境首都 あどぶと・エコスクール」を平成19年度に創設しました。平成25年度は城西高等学校と大塚製薬・大塚化学・大鵬薬品工業の3社とが養子縁組の協定を結び、3社からの人材派遣や教材費等の支援により、また、袋井用水を美しくする会や保健製薬環境センターの指導を受け、袋井用水の水質調査を行い、袋井用水の現状についての学

習を効果的に実施することができました。



水質調査の説明

(ウ)こどもエコクラブ事業

環境省が進める「こどもエコクラブ事業」は幼児(3歳)から高校生まで誰でも参加できる環境活動です。参加した子どもたちは、自然観察や調査、リサイクル活動など、地域の中で身近にできる環境活動に自由に取り組みます。平成25年度には県内で11クラブ886人が組織されて、各地域で活動を展開しました。

(エ)佐那河内いきものふれあいの里の自然環境学習

佐那河内いきものふれあいの里は、指定管理者であるNPO法人大川原が自然観察指導員による自然環境学習を実施しています。その内容としては、野鳥の観察会、低山ハイキング、そばづくり等の体験、希少動植物の観察など様々なメニューがあります。また、小中学校や民間団体などに対する環境学習も行っております。

表4-1-1 自然観察会等の実施状況

学習内容	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
自然観察会	44	740	30	649	32	658
団体等観察会	26	848	31	1,081	13	391
計	70	1,588	62	1,730	45	1,049

(オ)環境アドバイザーの派遣

環境に関する専門家を環境アドバイザーとして任命し、県民や事業者の皆さんが自主的に実施する講演会や学習会、地域活動などに派遣しています。平成25年度には41名の方を環境アドバイザーとして任命し、58ヶ所に延べ59回派遣しました。

表4-1-2 平成25年度徳島県環境アドバイザー派遣状況

年月日	派遣場所	内 容	参加人数
平成25年5月8日	鳴門市斎田公民館	消費生活と環境	67
平成25年5月11日	エコみらいとくしま	エコみらいとくしま環境セミナー	7
平成25年5月22日	吉野川干潟	春の干潟観察	148
平成25年5月27日	吉野川市鴨島公民館	徳島のおいしい水、水環境と水質	36
平成25年5月27日	小松島小学校	ネイチャーゲーム	30
平成25年5月30日	鳴門市 大塚スポーツパーク	インディECOソックス ごみゼロデイ	200
平成25年5月30日	八万東保育所	ネイチャーゲーム	35
平成25年5月31日	由岐保育園	ネイチャーゲーム	20
平成25年6月2日	あすたむらんど	あすたむゴーヤー緑のカーテン	34
平成25年6月6日	由岐保育園	親子ネイチャーゲーム	36
平成25年6月20日	富岡幼稚園	ネイチャーゲーム	44
平成25年6月24日	徳島市青少年交流プラザ	干潟の観察	32
平成25年6月25日	徳島市青少年交流プラザ	干潟の観察	54
平成25年6月25日	藍住町正法寺川	生き物から考える正法寺川の環境	94
平成25年6月26日	あすたむらんど	ごみの減量・地域の美化活動	80
平成25年6月27日	富岡幼稚園	ネイチャーゲーム	10
平成25年6月28日	内町保育所	ネイチャーゲーム	17
平成25年7月4日	木岐保育園	ネイチャーゲーム	10
平成25年7月9日	宝田幼稚園	ネイチャーゲーム	20
平成25年7月10日	内町保育所	ネイチャーゲーム	18
平成25年7月10日	富岡東中学校	生態系における干潟の役割	82
平成25年7月12日	吉野川干潟	干潟の生き物観察を通じた環境学習	82
平成25年7月12日	新野幼稚園	ネイチャーゲーム	34
平成25年7月25日	B&G海洋センター	勝浦川干潟の観察	42
平成25年7月26日	羽ノ浦くるみ保育所	ネイチャーゲーム	44
平成25年8月7日	徳島市立青少年交流プラザ	勝浦川干潟の観察	35
平成25年8月9日	徳島市立青少年交流プラザ	勝浦川干潟の観察	37
平成25年8月9日	リンテック株式会社 小松島工場	生物多様性への取り組み方について	25
平成25年8月19日	藍住町勤労女性センター	上勝での取り組み、ゴミの減らし方	19
平成25年9月10日	八万保育所	ネイチャーゲーム	28
平成25年9月12日	新野東幼稚園	ネイチャーゲーム	8
平成25年9月13日	城西高等学校	田んぼと生き物のかかわり	77
平成25年9月25日	神山町下分公民館	中国の大気汚染の日本への影響	41
平成25年10月12日	八万保育所	ネイチャーゲーム(職員研修)	13
平成25年10月16日	宝田保育所	ネイチャーゲーム	23
平成25年10月18日	鳴門市板東公民館	家庭生活における省エネ	7
平成25年10月31日	木岐保育園	ネイチャーゲーム	18
平成25年11月5日	国府保育所	ネイチャーゲーム(子育て講座)	25
平成25年11月5日	勝浦町住民福祉センター	第5回環境県民のつどい(身近な環境問題)	100
平成25年11月12日	宝田幼稚園	ネイチャーゲーム	20
平成25年11月12日	川田中小学校	ネイチャーゲーム	18
平成25年11月14日	新野東幼稚園	ネイチャーゲーム	8
平成25年11月16日	あいおいニッセイ同和損保株式会社	住吉干潟の生き物観察	101
平成25年11月18日	平谷保育園	ネイチャーゲーム	10
平成25年11月20日	羽ノ浦こぼと保育所	ネイチャーゲーム	30
平成25年11月21日	藍住町正法寺川	体験型ふるさとの川環境観察学習会	97
平成25年11月25日	国府保育所	ネイチャーゲーム	31
平成25年12月2日	林崎小学校	ネイチャーゲーム	56

平成25年12月2日	吉野川干潟	干潟の野鳥や自然の観察	68
平成26年1月17日	新野幼稚園	ネイチャーゲーム	34
平成26年1月28日	小松島市しおかせ公園	冬鳥の観察会	67
平成26年1月28日	宝田保育所	ネイチャーゲーム	34
平成26年1月30日	羽ノ浦くるみ保育所	ネイチャーゲーム	7
平成26年1月31日	小松島市しおかせ公園	鳥の観察会	19
平成26年2月1日	八万東保育所	ネイチャーゲーム	9
平成26年2月4日	平谷保育園	ネイチャーゲーム	10
平成26年2月20日	徳島城公園	鳥の観察会	25
平成26年3月1日	川塾事務所	COP19と市民運動について	15

(カ)ピオトップアドバイザーの派遣

ピオトップの専門家をピオトップアドバイザーとして任命し、市町村・事業者及び各種団体等が開催するピオトップの保全・創出に関する学習会や説明会等に派遣し、ピオトップへの取り組みについての基本的な考え方を指導し、また地域の合意形成や具体的な企画立案等を効率的に進めています。平成25年度には14名の方をピオトップアドバイザーとして任命し、6回派遣しました。(派遣状況は第2部第4章第1節102ページ表4-1-3)

(キ)環境学講座等の開講

環境首都とくしまの実現に向け、産学民官が連携・協働し、県民総ぐるみで環境活動に取り組むため、その主体となる、環境に関する高い意識と行動規範・実践力を持つ人材を養成するため、県民を対象とした「とくしま環境学講座」・「とくしま環境マイスター講座」を開講しました。(表4-1-3)

表4-1-3

平成25年度とくしま環境学講座開催状況

年月日	講座名	参加者数
平成25年6月10日 ～6月22日	とくしま環境学講座「とくしまエネルギーセミナー」	126名
平成25年5月2日 ～12月18日	とくしま環境学講座「自然エネルギー出前授業」	1,084名
平成25年10月9日 平成26年2月21日	とくしま環境マイスター講座	196名



出前講座

(2)今後の取組み

「環境首都とくしま創造センター(エコみらいとくしま)」を中心に、平成17年12月に策定した「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」に基づき、環境学習プログラムの普及や環境講座の開設などにより、環境学習を総合的・体系的かつ効果的にすすめるとともに、各主体の連携・協働を推進します。

また、環境アドバイザーやピオトップアドバイザーの派遣などにより、地域における環境活動を支援します。

さらに、「環境首都 あどぼと・エコスクール」などにより、実践的な環境学習活動を推進します。

併せて、県をはじめとした行政や、教育機関、環境団体、企業が実施する環境に関する各種講座や催しなどについて、一元的に情報を収集し、提供する仕組みづくりを行います。

学校における環境教育・環境学習の推進

(1)現状

各学校においては、環境教育を教育目標に位置づけ、児童・生徒の発達段階に応じて、社会科、理科、家庭科などの各教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間など、学校の教育活動全体を通じて系統的・計画的に環境教育を行っています。

県としては、平成16年度から児童・生徒・教職員が一体となった継続的かつ自立的な環境保全活動を推進する本県独自の「学校版環境ISO」認証システムを構築し、「学校版環境ISO」の認証取得を推進することで、環境教育の充実を図ってきました。平成24年度からは、これまでの取組を家庭や地域に波及させていく「新 学校版環境ISO」に移行しています。

また、地球温暖化対策の一環として、徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」の募集を行っています。

(2) 取組み

① 環境・エネルギー教育推進事業

(ア) 「新 学校版環境ISO」認証取得の推進

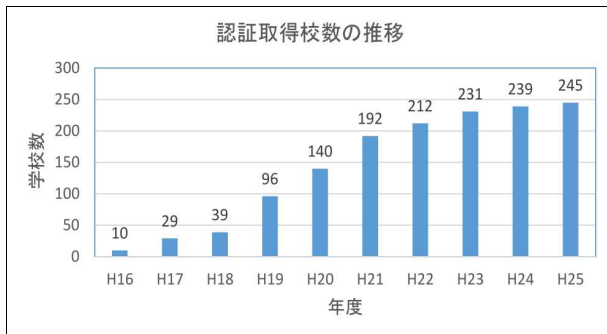
平成24年度から移行した「新 学校版環境ISO」では、従来の学校における節電・ごみ分別・リサイクル活動などに継続的に取り組むとともに、これらの取組を地域に広げ、児童・生徒が地域に出向いて、環境美化活動や自然観察などの体験活動を積極的に行い、学校での環境学習で学んだことを、家庭や地域にも波及させていくことを目的としています。

実施校は、必須項目（節電・ごみ分別・リサイクル活動）と、選択項目（①地域に広げる節電・ごみ分別・リサイクル活動、②地域に出向き深める環境保全・環境美化に関する活動、③地域に関連したテーマを選び、深めていく環境学習活動、④その他運営委員会がふさわしいと認めたテーマによる活動）から1つ以上を選択し、地域や学校の状況に応じた取組を推進します。認定されると認定証（3年間有効）が交付されます。

平成25年度までに、小・中学校、高等学校、特別支援学校を含めて190校が「新 学校版環境ISO」の認証を取得し、従来の「学校版環境ISO」の認証取得校と合わせて245校が活動をしています。



各学校における活動の様子



(イ) エコリーダー養成講座の開催(平成25年度)

「新 学校版環境ISO」の認証取得を目指す学校の環境教育担当の教員などに対して、認証システムの説明、環境教育の実践に関する情報交換などを行いました。また、「楽しく考える エコみらい」をテーマとしてエコ実験を体験しながら、楽しく現在の地球、未来の地球について考える講演を行いました。（参加者数96名）



エコリーダー養成講座

(ウ) 環境・エネルギー教育発表会の開催(平成25年度)

「新 学校版環境ISO」認証式、「環境・エネルギー教育推進事業」表彰式とともに、板野西小学校と南部中学校による実践発表を行いました。また、「みんなで取り組むまちづくり～上勝町ゴミゼロへの挑戦」をテーマとして上勝町におけるごみの分別や減量化の取組についての講演を行いました。（参加者数103名）



環境・エネルギー教育発表会

② 徳島冬のエコスタイル関連事業

(ア) 徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」(平成25年度)

年の初めにあたり、次の世代を担う子供たちに、地球温暖化防止の大切さを考えてもらう契機とするため、児童・生徒から「地球温暖化防止」にちなんだ書き初め作品を募集しました。

優秀作品については知事賞等を授与するとともに、県庁や徳島阿波おどり空港、徳島県立総合教育センターに展示し、県内外に発信しました。（応募作品数7,524点）



徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」表彰式

(3) 今後の取組み

「新 学校版環境ISO」認証取得校の取組や環境教育に関する資料をホームページ等から情報提供することで、「新 学校版環境ISO」認証取得をより一層進め、さらに学校での環境学習の学びを家庭や地域へ波及させていきます。

また、エコリーダー養成講座を開催し、環境教育の指導者の養成を通して、児童・生徒が環境問題の解決に向けて取り組む力を育成するとともに、実施校が取組や成果を発表する場として、環境・エネルギー教育発表会を開催し、環境教育の推進を支援します。

さらに、徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」の募集や展示を通して、省エネ・省資源の取組みをより広く呼びかけていきます。

循環型社会に向けた活動の推進

環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会の構築に向けて、国民一人ひとりの環境保全に係る意識の高揚を図るため、環境月間・3R推進月間に県民や事業者、各種民間団体の協力のもと、さまざまな行動を行いました。

(1) ごみゼロの日キャンペーンの実施

環境美化に対する意識を高めるため、平成13年度から5月30日の「ごみゼロの日」を中心に、「ごみゼロの日キャンペーン」を実施しています。関係機関や団体、事業所、学校に身近な場所での清掃活動を呼びかけ、平成25年度は240団体83,012人が活動に参加しました。

(2) 「買い物で発生するごみの減量化」の推進

循環型社会の形成を推進するため、平成25年11月2日～30日に県内の主な食品スーパー10社と連携して「とくしまマイバック持参キャンペーン」を県下全域で実施し、レジ袋削減の啓発活動に取り組みました。